

おしやれ

あゝ あゝ おしやれ

あれも おしやれ これも おしやれ

こゝにいと おしやれ いったい

黒一色 毎日 杉葉を煮てく

本物の おしやれ かまし水等の

くまに ぬきもの ちがう人

ローテ山 三ヨレを くらんでいことか

毎晩 ぼろくしとい

二水 若川 岩柱 おどろり長

ハアしを ちがてい

今日 は ぶしし この 阿茶を 煮た

つゆの サビとて 行つて

アを ぬりかえ

クリ アで しゃら そあ

アアリ とした 手 これも 美しい

この人 いくつだ ちがひ

いつも 若い人 アシヤツで 半ズボン

千尋の 年 わかろう 若者 何だ

矢白付 この 千代世の アシヤツ ちがうと

あにいう言の と書つてい

自分うあしやれをしてい

アツシヨレシヨレ

見るとも あしやれが 奥うわ

今もか あしやれとあすかあがりて 11

私も あしやれ 天すき

あしやれを考えて4

あしやれを あすもの

そのあまもみの ながうかた

あしやれは かくさん 2/1

あしやれを すきしかをい

2025  
2/1